



東京から政権交代へ — 東京都知事選挙 (投票日7月7日) —

4年に1度の東京都知事選挙が、6月20日告示、7月7日投票の日程で行われます。

現職の小池百合子都知事はまだ出馬表明していませんが(6月10日現在)、蓮舫参議院議員(東京選挙区)が、立憲民主党を離党して無所属となり、「反自民党政治、非小池都政」の立場からの挑戦を表明しています。

【自民党と手を組んだ小池知事】

8年前の2016年、小池氏は自民党の衆議院議員でしたが、東京都議会の自民党を「伏魔殿」、東京都庁を「ブラックボックス」と批判し、「都政の透明化」を掲げて初当選しました。

さらに2017年の衆議院選挙では「希望の党」の代表として、自民党からの政権奪取を目指しました。

しかし今は、東京都議会で自民党の支援を受け、江東区・八王子市・目黒区といった自治体選挙でも、自民党の候補者を応援しています。

この8年で小池氏が「伏魔殿」「ブラックボックス」と評した都政が「透明化」されたようには見えません。むしろ、小池知事の記者会見では厳しい質問をする記者には質問させない、また都議会で立憲民主党など野党の議員が小池知事の答弁を求めても答えず、その「答弁拒否」を指摘した議員の発言を自民党議員らが数の力で取り消させるといった、「透明化」とは全く逆の状況が生じています。

このように、**8年前には自民党政治を厳しく批判して当選したにもかかわらず、今ではなぜ自民党と手を組み、自民党流の政治運営を行っているのか、小池知事からの説明はありません。**

【「7つのゼロ」はどこへ】

小池氏は2016年の都知事選挙の公約として「7つのゼロ」(待機児童ゼロ、介護離職ゼロ、残業ゼロ、都道電柱ゼロ、満員電車ゼロ、多摩格差ゼロ、ペット殺処分ゼロ)をあげました。

また2017年の希望の党の公約は「12のゼロ」(原発ゼロ、隠ぺいゼロ、企業団体献金ゼロ、待機児童ゼロ、受動喫煙ゼロ、満員電車ゼロ、ペット殺処分ゼロ、フードロスゼロ、ブラック企業ゼロ、花粉症ゼロ、移動困難者ゼロ、電柱ゼロ)でした。

難しい問題にも「ゼロ」と言い切る歯切れの良さにひかれて、小池氏に期待し投票した方も多かったと思います。

しかし「7つのゼロ」から8年たった現時点でも、ペット殺処分以外の6つの「ゼロ」は達成できていません。結局は、耳ざわりの良い人気取りの公約であったと言わざるをえません。

【都民の生活よりも大企業優遇?】

「東京オリンピック・パラリンピック開催準備基金」など都の会計から支出されたオリ・パラ関係費用は1兆2000億円を超えています。また都市再開発への補助金等として、毎年1000億円を超える都の支出がされているとのことです(いずれも山本由美ほか編著「徹底検証!東京都政」より)。

これらの巨額なお金は、オリ・パラや再開発に関連する限られた企業等に支払われており、広く都民の生活を助ける支出になっているとは思えません。

江戸川区でも約78億円をかけてオリ・パラ競技施設が建設されましたが、その後の利用状況は芳しくなく、毎年約2億円の赤字が発生しています。

オリ・パラ以外にも、葛西臨海公園をはじめとした都を象徴する緑豊かな公園（明治神宮外苑・日比谷公園など）で、都民への十分な説明を経ることなく、大量の樹木伐採など開発事業者の利益を優先した再開発が進められようとしています。

これらの政策の方向性は、小池知事の都政が続く限り、見直されることはありません。東京都の合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に生む子どもの数の指標）が過去最低の0.99となった現状において、もっと都民の生活を助ける方向へ都政を変えていくべきだと私は思います。いま都民の選択が問われています。

【東京から政権交代へ！】

自民党のパーティー券裏金問題をきっかけとした政治資金規正法の改正は6月6日に衆議院で可決され、この通常国会中（6月23日まで）には参議院でも可決されて成立する見通しです。

しかしその内容は、立憲民主党など野党が主張していた①企業団体献金の廃止、②政治資金パーティーの禁止、③使い道が不明の「政策活動費」の廃止などは盛り込まれず、④裏金問題のような不正があった場合に会計責任者

（秘書など）だけではなく、議員本人も責任を負う「連座制」も抜け穴が大きく実効性のないものとなっています。

このような見かけだけの改革を数の力で押し通そうとする自民党の「利権政治」を終わらせるためには、政権交代しかないことが明確になりました。

日本の中心である東京都知事選挙の結果は、日本全体の政治にも大きく影響します。4月の衆議院補欠選挙で自民党を3戦全敗させたことに続いて、自民党政治の延命に手を貸している小池知事の当選を阻止することができれば、次の衆議院総選挙での政権交代に、大きく近づくことができます。

私たちの力で「まっとうな都政」を実現する新しい都知事を選び、東京から政権交代を実現させましょう！

後援会員募集中！！

「柴田かつゆき後援会」では会員を大募集中です！
会費は無料、柴田かつゆきを応援したい、と思っ
てくださる方でしたら、年齢・住所・国籍等問わずど
なたでも入会可能です。



お申込みは office.kshibata@gmail.com
または電話 050-8886-1651 まで！

柴田かつゆき事務所 公認キャラクター
しばかつくん

柴田かつゆき プロフィール

1968年10月生まれ 開成高校・東京大学法学部卒業 弁護士

元：司法研修所教官、第二東京弁護士会副会長、森・濱田松本法律事務所パートナー
座右の銘：不貪不瞋不痴（みんなのために、明るく、頑張る）、実力も運のうち

編集後記 事務所スタッフの「独り言」

スタッフNです。一身上の都合により、5月末より兵庫県明石市に移住いたしました。この欄をお借りし、お世話になった皆さまに改めて感謝申し上げます。

新居の周辺には川も海もあり、江戸川区と似ているなあと感じる
ところもあれば、スーパーマーケットやそこで売っている魚など
馴染みのなかったものも多くあります。会話には困りませんが言葉
のの違いで戸惑うこともありました。こちらの文化をしっかりと勉強
していかなくてはと思いながら歩いていると川のほとりにシロ
ツメクサの花を見つけました。子どものころ、よく冠をつくった
お花です。遠くまで来た気でいたけれど「大丈夫やで」ってお花
に言ってもらえた気がしました。

SNS更新中！

QRコードよりチェック！



柴田かつゆき事務所

〒134-0091 東京都江戸川区船堀1-4-10 第2乙女屋マンション604
電話：050-8886-1651 FAX：050-3488-7290 メール：office.kshibata@gmail.com